

民主国家・モンゴルの発展に寄与する事業企画提案

三木延義

●充実した視察でモンゴルへの共感が高まる

正直言って、今回の旅行は成り行きで参加することにしたため、出発前はあまり心躍るものではありませんでした。しかし、実際に参加してみたところ、ウルジさんを初めとした関係者のご手配とご配慮で実に充実した体験をすることができました。この感動が私のモンゴルへの共感を高めてくれ、モンゴル国の発展に微力ながら貢献したいという気持ちを強くしてくれました。

ロシア、中国に囲まれた民主国家のモンゴルが日本の支援で発展することは、日本の外交的にも、重要なことであり、その一助となれば日本国民としても、喜ばしいことではないかと考えているところです。

●中小企業でも取り組める事業分野をサーチ

当地で聞いた情報によれば、マーケットサイズの小さいモンゴルでは、大企業の進出はなかなか期待できません。また、物流にさまざまな困難があり、運搬が容易な商品やサービスを扱う事業分野の中小企業が進出するのが成功の可能性が高いと思われました。そのような観点から下記のサーチ企画を提案します。何も調べていない思い付きですが、モンゴル研究会のサーチ活動にきっかけになればと考えております。

サーチ企画案①(白鵬)モンゴル・そばの開発

モンゴルでそばを栽培して、そば粉にして日本に輸出する事業。

現状をネットで調べたところ、日本でのそば粉の輸入は中国が大部分を占め（輸入量の73.7%2008年のデータ）、輸入価格は6500円/45kg（2014年・政府調べ）。tあたりに直すと14, 5万円。モンゴルでもソバを栽培しているようだが、ほんのわずかのようだし、日本への輸出量も微々たるものようです。このような状況で、本事業を進めることは大変に困難なこととは思われますが、サーチしてみる価値はあると思われれます。可能であれば、ウルジ氏ルートで何らかの形で白鵬関の支援を得られてブランドに使用させていただければ、事業推進の大きな力になるのではないのでしょうか。また、サーチに当たってはD F蕎麦打ち同好会の全面的支援を得られれば多いなる力になることと思います。

[サーチ内容・活動アイデア]

- ① モンゴルのそば栽培の現状
- ② 日本でのそば粉の取引状況
- ③ 協力そば製造会社の調査
- ④ 上記会社の協力でモンゴルの学校給食にそば料理を提供。モンゴルのそば食文化を定着させ、モンゴル国内でのそば需要の開発をする。（日清製粉は、2008年からケニアのナイロビで学校給食に即席麺を提供。それが一般家庭での即席麺の食習慣につながり、現在では大半のスーパーに並び、人気商品になっている。8・23の朝日新聞の記事）

サーチ企画案②日本式美容室チェーンの展開

一般的に、所得水準が上がるにつれ、美容やファッションへの関心が高まり、その分野での需要が旺盛となります。モンゴルでもそろそろその段階に来ているのではないのでしょうか。ただ、マーケットサイズが小さいので、いきなり化粧品やアパレルの商品を販売するのはリスクがあります。しかし、美容

室なら100万人（ウランバートル）の市場でも、事業性があると思われます。日本の関連企業の協力を得て、人材育成、開業コンサル、資材提供をして、美容室チェーンを展開するためのサーチを提案します。

関連企業情報

- ・モンゴル側 財閥のオーナーの妻の方が美容室チェーンを展開している（西沢氏の情報）
- ・日本側 株式会社ビューティガレージ（本年7月東証マザーズより東証一部へ上場）
理美容店を対象に、開業コンサル、人材育成、資材販売の事業を展開
私が接点のある中小企業経営者の集まりである「ダイヤモンド経営者倶楽部」の会員

●その他の調査事項

上記2件のサーチをする上で共通して調査しなければならないのが、

- ①日本での中小企業海外進出に関する支援制度
- ②モンゴルでの海外中小企業進出のための支援制度

●アドバイザー候補

白石正明氏（三井物産OB）

物産と東レの合併会社でODA（政府開発援助）に関わる技術コンサルタント会社の元社長
上記支援を得るためのレポート作成と支援機関との交渉技術の支援